

■野口雨情 詩人。異色の詩で大家扱い、日本初の創作民謡集後詩壇から離れるも、民謡・童謡流行で再開、作詞第一人者に。

のぐちうじょう

新体詩抄・1882= 茨城県磯原村(北茨城市)で、旧水戸藩士で回漕業営む野口量平の長男に生まれる。母はてる。名は英吉。

内閣発足・1885= 3歳：妹ひさが誕生。

帝国憲法発布1889= 7歳：豊田尋常小学校磯原分校に入学。

足尾鉍毒始・1891= 9歳：妹ちゑが誕生。

郡司千島探検1893=11歳：豊田高等小学校に入学。回覧雑誌「荒磯」に民謡風の「働け働け」を書く。

日清戦争始・1894=12歳：

八幡製鉄始・1897=15歳：雑誌「文庫」に俳句を投稿。上京し、衆議院議員の伯父野口勝一宅に住み、東京学院尋常中学に入学。

Bushidou・1899=17歳：父が平村長になる。順天求合舎中学3年に編入。この頃から。民謡体の詩を創作し始め、

ビアノ国産化・1900=18歳：

田中正造直訴1901=19歳：東京専門学校予科文学科に入学、哲学科に転じる。小川芋銭、小川未明らと親交するが、

教科書疑獄・1902=20歳：中退。諸雑誌に詩を発表し始め、

日比谷公園・1903=21歳：\*「いはらき新聞」に詩を投稿、異色の作風が認められ、大家並の扱いを受ける。

日露戦争始・1904=22歳：平村長をしていた父が死去したため、帰郷。家督相続するも、借金整理に苦しむも、詩作発表続け、

日露戦争終・1905=23歳：ヒロと結婚。伯父野口勝一が死去。日本初の創作民謡集となる田園詩集「枯草」を自費出版。

満鉄発足・1906=24歳：長男が誕生。なお借金に追われ、報知新聞権太通信員になるも、詩人の夢捨てきれず上京。

韓国反日暴動1907=25歳：\*つづいて民謡集「朝花夜花」を自費出版、民謡詩人として認められるが、

アソビ創刊・1908=26歳：長女が誕生するもすぐに死去。北海道の「小樽日報」勤務中、同僚の石川啄木と主筆排斥運動を起こして首になり、以後、道内の諸新聞社を転々とし、

伊藤博文暗殺1909=27歳：胆振新報を最後に、再び上京。

韓国併合・1910=28歳：胆振新報への弾圧の余波で一時拘束。

大逆事件判決1911=29歳：母が死去。帰郷し植林事業に従事。詩壇から離れる。

明治天皇没・1912=30歳：

大正政変・1913=31歳：次女が誕生。

第一次大戦始1914=32歳：同志と住民運動起こし、雑誌を発行して、啓蒙と弱者救済に努めるながら、鉱業所等で働く。

21ヶ条要求・1915=33歳：離婚し、2児を連れ、前年世話になった福島県湯本の芸妓置屋村まちと同居し、開拓事業に従事。

ロシア革命・1917=35歳：立木売却事件で警察沙汰。

本格政党内閣1918=36歳：茨城県下妻の中里つると再婚。時代的な民謡・童謡の流行とともに創作を再開、

ペルシヤ条約・1919=37歳：三女が誕生。\*民謡集「都会と田園」を刊行、詩壇に復帰。「枯れすすき(船頭小唄)」。雑誌に童謡発表始め、

大暴落・1920=38歳：\*児童雑誌「金の船」の童謡欄を担当、上京しキンノツノに入社。「十五夜お月さん」、

原敬首相暗殺1921=39歳：四女が誕生。民謡集「別後」童謡集「十五夜お月さん」刊行。「七つの子」「赤い靴」「青い眼の人形」、

水平社結成・1922=40歳：童謡集「蝙蝠の唄」評論「童謡の作りやう」出版、「かなりや」「婦人界」選者。「黄金虫」「しゃぼん玉」、

関東大震災・1923=41歳：\*評論「童謡十講」「童謡教育論」「童謡と児童の教育」民謡集「沙上の夢」。「船頭小唄」主題歌の映画大ヒット。

護憲三派圧勝1924=42歳：四女が夭折。童謡集「青い目の人形」「雨情童謡百篇」刊行。「あの町この町」「兎のダンス」「波浮の港」、

治安維持法・1925=43歳：五女が誕生。同志と日本作歌者協会設立。\*評論「童謡と童心芸術」。「証城寺の狸囃子」「雨降りお月さん」、

円本時代始・1926=44歳：北原白秋らと日本作歌協会設立。\*民謡集「おさんだいしょさま」童謡集「蜜の燈臺」。「俵はごろごろ」、

金融恐慌・1927=45歳：六女が誕生。北海道、台湾、満州を旅行。\*「童謡教本」。

共産党事件・1928=46歳：文部省仏教音楽会評議員。\*「野口雨情民謡叢書」評論「児童文学の使命」、「舌切雀」、

世界恐慌・1929=47歳：朝鮮・満州講演旅行。\*民謡集「波浮の港」。雑誌「民謡音楽」主幹。「上州小唄」、

海軍軍縮条約1930=48歳：次男が誕生。作品がいくつかの文学全集類へ収録。\*集中的に傑作を出し続けたが、時代の変化で退場し、

満州事変・1931=49歳：次男が夭折。三男が誕生。同志と日本歌謡協会設立。

五一五事件・1932=50歳：映画「旅は青空」の主題歌作詞。

国際連盟脱退1933=51歳：七女が誕生。

帝人疑獄事件1934=52歳：満州旅行。

芥川直木賞始1935=53歳：八女が誕生。日本民謡協会を再興し、理事長。

二二六事件・1936=54歳：民謡集「草の花」。

日中戦争始・1937=55歳：朝鮮講演演奏旅行。

健保+総動員1938=56歳：九女が誕生。(現代)に「札幌時代の石川啄木」。

第二次大戦始1939=57歳：以降4年、中山晋平・佐藤千夜子らと、朝鮮・台湾・北海道・九州を巡歴。

大政翼賛会・1940=58歳：分家し、生家を除籍となる。満州講演旅行。

日米開戦・1941=59歳：最後の帰郷。

創価学会検挙1943=61歳：童謡集「朝おき雀」。ヒロを野口家に復籍。\*発病、

年金+総武装1944=62歳：栃木県に疎開し、\*療養生活を送って。

敗戦・1945=63歳：\*没した。